

教育相談と巡回相談の充実を!

中西佳代子(社・民・生ネ)
 教育相談所と青少年課の巡回相談の相談員同士が連携し、共に学びあつて力量の向上を。

教育長 現在、月一回、巡回相談による事例報告会を実施しています。事例の交換や意見交換を行っています。

副教育長 不登校中学生への進学情報の提供と、不登校小学生が通える教室の早期設置を。

教育長 不登校生徒に対する進路指導は、各学校が生徒一人一人の将来の目標を明確にとらえ、保護者とも密接な連絡を図る中で行われています。小学校適応指導教室のあり方について、来年度の早い時期に開設準備的なものを立ち上げをして動き出していきたいと考えています。

副教育長 学校給食問題協議会の常設化を。

教育長 現在諮問をするところがないので、今後、開催する課題があれば、諮問をして協議会を開いていきたい。

副教育長 冒険遊び場への助成のあり方は。

教育長 もし市が協成する際は、相手先は個人よりNPO法人の資格を持つ団体の方が望ましいと思っています。

副教育長 ためき山にエールを。

市長 行政として可能な限りの応援を、できれば各所にふやしていきたい。

公式野球場の建設について

金森 貢(自由民主党)
 平成九年九月議会で公式野球場建設促進に関する請願が全会一致で採択され、寺田市長は請願者に回答されました。これには平成九年度において実施設計、平成一〇年度から二年度に整備工事の予定で、平成一五年には野球場が完成するとのことでした。スポーツ団体は大きな期待をしていますが、何一つ実現方向に進んでいないことが判明しました。市民に約束したことは守るべきである。

市長 全く道路のないところをやさうということですが、まずしっかりと道路をつくらなければなりません。駐車場とか、その他の機能を少しづつ、外堀を埋めるような形で準備をしつつ、最終的には球場の建設に入るという手順でやってきています。規模等のいろいろな検討も入ると思いますが、もう一つ、できればPFI方式が可能かどうかという点も、若干調査してみたいという気持ちがあります。私は、やはり開発の困難さはあるにしても、野津田公園というのが総合グラウンドとか、いろいろなスポーツを相対視野にいたる空間計画であるわけですから、多少仮に時間がかかったとしても、あの場所につくっていくことがベターだと思っています。



公式野球場予定地(野津田公園)

南町田に大学病院を誘致せよ!

長村敏明(自由民主党)
 南地区の医療機関の充実のため、老人保健施設の設置、南町田駅周辺に大学病院を誘致せよ。

市長 老健施設については医療法人であることや社会福祉法人等の要件が必要で、大学病院という話があります。民間の医療施設が進出をということであれば、できるだけ協力していきたいと思えます。

副市長 町内会、自治会が以前より強く要望している南町田、すなわち台駅前交番の早期設置に一層の努力を望む。

市長 これからも引き続き、東京都市、警視庁等に実現に向けて求めていきたい。

副市長 南町田駅周辺に野津田公園設置を望むが強い、早期実現を。

市長 まず、土地の確保が必要になるので、これらについては最優先で取り組みたいと考えていますが、地元で何かの情報があればぜひお聞かせいただきたい。

副市長 生産緑地の追加指定は先送りせず、速やかに柔軟に対応せよ。

市長 生産緑地の関係にはしっかりと基準と、東京都との調整が必要になるが、明確な基準を設定した上で来年度これを決めたい。

カラス対策はごみの早期収集で

藤田 学(自由民主党)
 カラスが異常にふえ、ごみ集積所での被害、さらには子どもが襲われるなど人的な被害まで多数報告されている。東京都ではこれを深刻な社会問題として、緊急対策に乗り出しているが、町田市は市民がこんなに困っているのに何をやっているのか。

市長 夜間より早朝に、撤去してしまふことも一つの方法だと思います。リサイクル文化センターに持ち込むには、周辺に対する影響配慮、この辺も難しい問題があると思っています。

副市長 ごみの早期収集を求める。今の直営体制でできる範囲で、

なかよし公園外周道路に歩道が

黒木文(自由民主党)
 市内には交通量が多いのに歩行者のための歩道確保や安全施設がない道路が多い。例えば、玉川学園なよし公園外周沿いの道路や山崎町かたかこの森か木曾町向かう道路、それぞれどのような対策をとれば歩行者にとって安全になるのか。

建設部長 なかよし公園の敷地に面したところは、組み立て式の歩道になると思いますが、できるだけ幅員を確保したい。これは新年度早い時期に設置していきたい。山崎新道の件ですが、七メートルの幅員が確保されている場所が

三〇人以下学級の早期実施を

齋藤 勇(日本共産党)
 学級崩壊やいじめをなくし、一人一人の子供の能力を伸ばし、学力を向上させ、教育の危機を改善するには少人数学級が不可欠である。少人数学級は世界の趨勢であり、文部省もその方向を打ち出している。どう考えるか。

市長 市長会を通じて、学級編成の少人数を初め学校教育の充実については、政府に要求をしているところです。

教育委員長 今後、都に対して、一日も早く少人数学級の法律にのっとった三〇人ないし三五人程度に削減できるような方策が実施できるような要請を今後も続けたい。

市民病院の救急対応について

古宮村司(市民派クラブ)
 私は先日夜、単車同士の衝突で、左側肋骨五本及び左手首骨折という瀕死の重傷を負ったので市民病院にて受診したが医師は入院させなかつた。私はひとりで喜ぶしのためにとどうすることもできぬ実情を訴えたが、入院は認められなかつた。このような処置を市民病院長は適正妥当と思ふのか。

市民病院長 入院の是非については、そのときの主治医の判断によります。必ずしもこのたびの処置が間違っているとは思っていません。

副市長 翌日他の医師は重症と認め直ちに入院を認めました。同じ市民病院でこのように患者の処置が違つて良いのか。

市民病院長 実際、一日分薬が出ています。これは強い鎮痛剤で、これが効かなければ入院とか、医師はそういったもので判断することもありますが、肋骨が折れているとか何針縫つたとか皆さんはお考えですけれども、医師の重症度の判断はそれだけではありません。当事者はその時点では入院が必要ないだろつて、その後、警察の事情聴取に行つてみるとか、いろいろ会話ができてくるとか、気持ちはわかりますけれども、次の日に入院させたことは治療法としては誤っていないと思えます。